〔ケーブルの設定・ケーブル長の補正〕

●ケーブル長測定の各種パラメータは工場出荷時設定（※1）に設定されていますが、任意に設定することも可能です。ケーブルの種類ごとに設定することにより、ケーブル長測定の精度を上げることができます。

	Cat5/Cat6切替	UTP/STP切替	基準ケーブル補正
SET 0～9	○	○	○

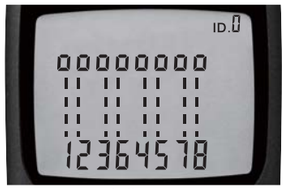
（1）TESTスイッチを押し電源をONします。
（2）初期画面でSETスイッチを長押し（3秒）すると、オートパワーオフの設定画面が表示されます。
（3）←→スイッチでケーブル設定モードにし、SETスイッチを押します。
（4）メモリー番号（0～9）が点滅します。←→スイッチでメモリ番号を変更してSETスイッチを押します。
（5）ケーブルのカテゴリ表示（CAT5/CAT6）が点滅します。←→スイッチでケーブルカテゴリを設定してSETスイッチを押します。
（6）ケーブルタイプ表示（UTP/STP）が点滅します。←→スイッチでケーブルタイプを設定してSETスイッチを押します。
（7）ケーブルの設定のみの場合は、「TESTスイッチ」で決定し設定を終了します。引き続きケーブル長の補正を行う場合は、「SETスイッチ」を押します。ケーブルの長さ表示が点滅します。
（8）基準ケーブル（※2）を本体と配線ターミナル間に接続します。
（9）←→スイッチで基準ケーブルの長さを設定します。SETスイッチを押すと長さ表示の単位（メートル/フィート）が変わります。TESTスイッチを押して、設定を終了します。（長さ補正の設定をキャンセルして終了する場合は、L/Wスイッチを押します。

※1　SET 0～9の出荷時設定はすべて「CAT5 UTP」です。
※2　基準ケーブル：測定に使用するケーブルと同一仕様（メーカー・種類）で長さが判っているケーブル。基準ケーブルはできるだけ長いケーブル（100m程度）を使用してください。短いケーブルを基準にした場合は誤差が大きくなります。30m未満のケーブルは使用できません。

●ケーブル長の補正を初期設定（工場出荷設定）に戻す方法

上記（1）～（3）まで同じ手順です。
（1）TESTスイッチを押し電源をONします。
（2）初期画面でSETスイッチを長押し（3秒）すると、オートパワーオフの設定画面が表示されます。
（3）←→スイッチでケーブル設定モードにし、SETスイッチを押します。
（4）メモリ番号（0～9）が点滅します。←→スイッチで初期設定に戻したいメモリ番号に変更します。
（5）SETスイッチを3回押して、右の画面にします。ケーブル長の補正が行われている場合は、「○-○○○-YES」と表示されます。
（6）L/Wスイッチを押すことにより、ケーブル長の補正が初期設定に戻ります。

確認方法として、再度（1）～（5）の操作を行い、表示が「○-○○○-no」となれば初期設定です。



初期画面

ケーブル設定モード画面（SET 0～9）
◀▶ で切替

ケーブル長の補正モード画面（30～255m）
◀▶ で切替

〔液晶表示〕

●オートパワーオフ機能

ON設定時、無操作約15分で電源が切れます。

・ON/OFF設定方法　（工場出荷時設定は、「ON」です。）

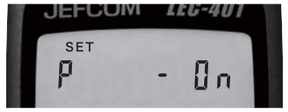
1. 初期画面でSETスイッチを長押し（3秒）する。
2. P-ON/OFFの画面が表示される。
3. SETスイッチを押す。この時、ON/OFFの表示が点滅する。
4. ←→スイッチを押して、ON/OFFを切り替える。
5. TESTスイッチを押して、初期画面に戻る。
   P-ON　：無操作約15分で自動的に電源が切れます。
   P-OFF：自動的に電源は切れません。

●バックライト機能

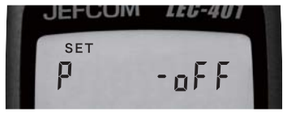
ON設定時、何れかのスイッチが押された場合バックライトが点灯します。その後無操作20秒でバックライトが消灯します。

・ON/OFF設定方法　（工場出荷時設定は、「OFF」です。）

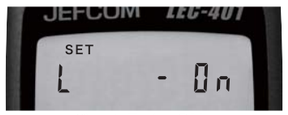
1. 初期画面でSETスイッチを長押し（3秒）する。
2. P-ON/OFFの画面が表示される。
3. Light-on/offの画面が表示されるまで←→スイッチを押す。
4. SETスイッチを押す。この時、ON/OFFの表示が点滅する。
5. ←→スイッチを押して、ON/OFFを切り替える。
6. TESTスイッチを押して、初期画面に戻る。
   L-ON　：無操作約15分で自動的に電源が切れます。
   L-OFF：自動的に電源は切れません。



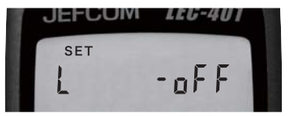
オートパワーオフON



オートパワーオフOFF



バックライトON

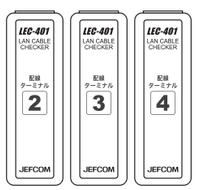


バックライトOFF

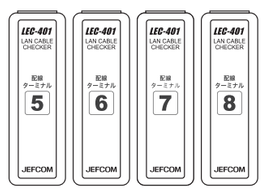
〔別売　オプション〕

●配線ターミナル（No.2～4）LEC-401-TA
本体付属の配線ターミナルとの併用で最大4本（No.1～4）までのケーブル探査が可能。

●配線ターミナル（No.5～8）LEC-401-TB
本体付属の配線ターミナル・上記No.2～4との併用で最大8本（No.1～8）までのケーブル探査が可能。



配線ターミナル（No.2～4）
LEC-401-TA



配線ターミナル（No.5～8）
LEC-401-TB

ジェフコム株式会社
〒579-8014　東大阪市中石切町3-13-16
JEFCOM

●本製品は、改良のため予告なしにデザインや製品仕様等の変更を行う場合があります。

ML1BBJ

JEFCOM
LANケーブルチェッカー LEC-401　取扱説明書

このたびは、LANケーブルチェッカー LEC-401 をお買上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用にあたっては、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

⚠警 告

●被測定線が活線状態のままで本器を接続しないでください。
●不適合なコネクター（RJ45以外）及び不適切な圧着をしたコネクターは挿入しないでください。
●本器を無断で改造したり分解しないでください。

⚠注 意

●使用を開始する前に本器の外観構造に異常がないかを確認してください。
●雨中では危険ですので使用しないでください。
●保管する場合は直射日光の当たらない所に保管してください。
●本説明書に記載の用途以外には使用しないでください。
●子供には手を触れさせないでください。

【用途】
●LANケーブルのワイヤーマップ、長さ、接続先の識別を行う。
●オプションの配線ターミナルは複数のケーブルを識別するときに使用します。

【特長】
●ツイストペアケーブル（UTP、STP）用テスター
●オープン、ショート、誤配線、スプリットペアを検出
●測定結果（ワイヤーマップ、配線ターミナル番号）を本体液晶に表示
●ペアごとの長さを表示、メートル・フィートの表示切替が可能
●オートバックライト表示
●オートパワーオフ機能
●電池交換お知らせ機能
●ケーブルの両端に本体と配線ターミナルを接続し、TESTキーを押すだけの簡単操作
●CAT5/CAT6、UTP/STPの切替え機能付き
●別売の配線ターミナルの併用により、最大8本までのケーブルの探査が可能

【セット内容】開梱時にご確認ください。

① 本体	：1
② 配線ターミナル（No.1）	：1
③ パッチケーブル	：2
④ 収納バッグ	：1
⑤ 電池（動作確認用）	：1

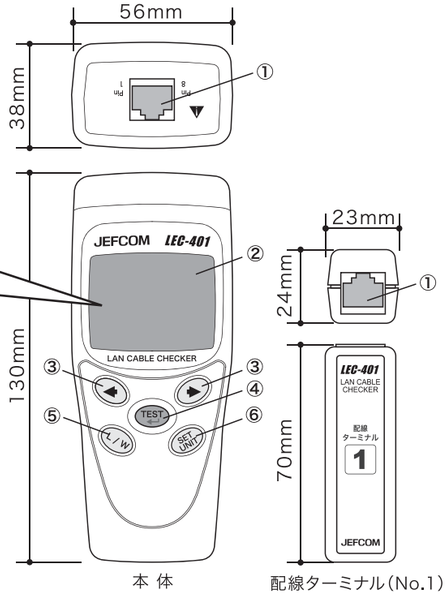
仕様・各部名称

※仕様などは予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。

〔仕 様〕

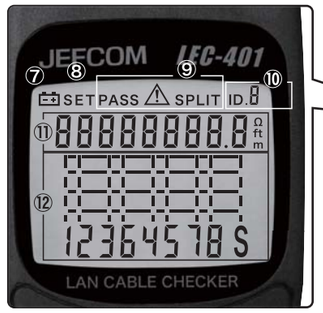
適合ケーブル：RJ45、Cat5/Cat6
UTP/STPケーブル
特性インピーダンス100Ω
ワイヤーマップ：オープン
ショート
誤配線
スプリットペア（10m以上）
ケーブル長測定：測長 5m～255m
表示分解能 0.1m
誤差 ±10%＋1m
表　　示：LCD（バックライト付）
使 用 電 池：006P 9V アルカリ電池推奨
（付属電池は動作確認用）
電 池 寿 命：約50時間
オートパワーオフ：無操作約15分で自動オフ
使用温度範囲：5℃～40℃（80%RH以下）
サ イ ズ：本体 130×56×38mm
配線ターミナル 70×23×24mm
質　　量：本体 160g（乾電池含む）
配線ターミナル 25g
適 合 規 格：EMC EN61326-1

本 体　　配線ターミナル（No.1）



本 体　　配線ターミナル（No.1）

②液晶画面



〔各部名称〕

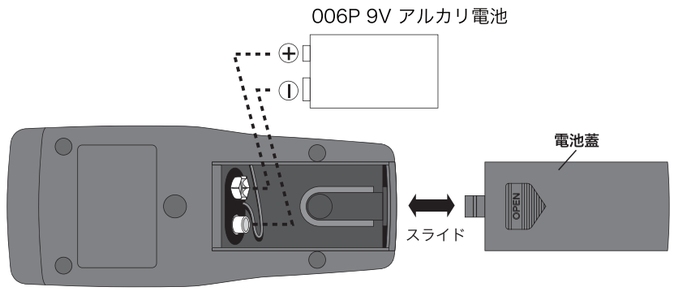
① モジュラーソケット
LAN配線（LANケーブル）を接続
② 液晶画面
測定結果表示・設定表示
③ ◀▶ 項目切替ボタン
長さ表示切替・設定項目切替
④ TESTボタン
電源ON・測定開始、電源OFF（長押し）
⑤ L/Wボタン
ワイヤーマップ（導通）⇔長さ　表示切替
⑥ SETボタン
設定画面表示
⑦ 🔋 ：電池交換表示
⑧ SET：設定画面時に表示
⑨ ワイヤーマップ（導通）の結果表示
PASS：正常
⚠ ：誤配線
SPLIT：スプリットペア
⑩ 配線ターミナルの番号を表示
⑪ ワイヤーマップ（各ペア）
ケーブル長（m/ft）
設定項目（各種）
⑫ ワイヤーマップ（導通）の結果表示
オープン・ショート
誤配線・スプリットペア
シールドあり・なし

使用方法

〔電池をセットする〕

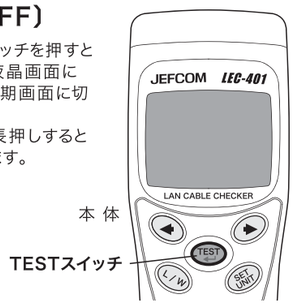
●初めに本体の電池蓋を外し、電池の＋ーを合わせてセットしてください。
●ご使用にならない時は、電源をOFFしてください。

注）オートパワーオフ機能により無操作約15分で自動的に電源が切れます。液晶画面に電池マークが表示された場合は新しい電池と交換してください。
注）電池交換を行うときは、電源をOFFにして、モジュラーソケットには何も接続しないでください。
注）マンガン電池を使用する場合は使用時間が短くなります。

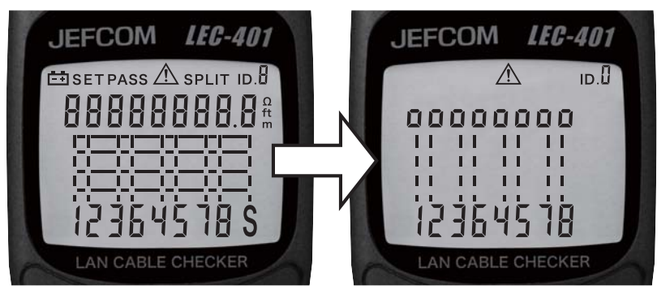


〔電源ON/OFF〕

●本体のTESTスイッチを押すと電源ONとなり、液晶画面に全表示が出て、初期画面に切り替わります。
●TESTスイッチを長押しすると電源OFFとなります。



本 体
TESTスイッチ



全表示　　初期画面

〔測定作業〕

●導通（ワイヤーマップ）

（1）本体と配線ターミナル間にLANケーブルを接続します。
（2）TESTスイッチを押します。電源がONし、測定モードが表示され、ワイヤーマップの測定結果を表示します。
（3）L/Wスイッチを押します。ペア線の長さを表示します。←→スイッチによりペア線を切替えます。長さの表示中にSETスイッチを押すとメートル表示とフィート表示を切替えます。
（4）TESTスイッチを長押し（約3秒）すると電源OFFします。

LAN配線

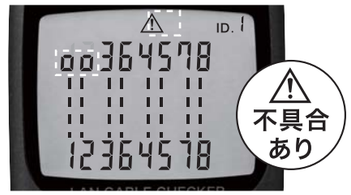
LANケーブル

●作業を行う前に
ケーブルタイプの設定画面で、Cat5/Cat6、UTP/STPの設定を行ってください。
ケーブルタイプの設定と使用ケーブルにより下記の結果表示となります。
初期設置は、Cat5・UTPです。

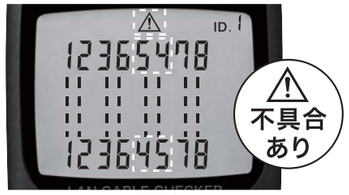
設　定	測定ケーブル	結　果
UTP	UTP	正常
UTP	STP	シールドの表示はなし
STP	UTP	シールド未接続でご配線の表示
STP	STP	正常

導通（ワイヤーマップ）　表示例

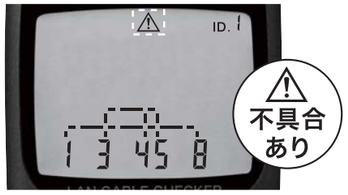
正常
（シールド付の場合、H－Sの表示が出る）



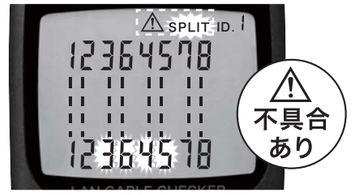
オープン
（1番又は2番ピンがオープンになっている）
※ペア線単位で検出、一方がオープンでも同じ表示



誤配線
（4番・5番ピンが逆に接続されている）



ショート
（1-8番ピン、3-4-5番ピンがショートしている）
※ショートの場合は不具合部分のみ表示



スプリットペア
（3-6、4-5番が誤っている場合、点滅します）
※10m以下のケーブル及び、オープン・ショート・誤配線の場合は検出できません。

●ケーブル長さ（各ペア長さ）

（1）ワイヤーマップ表示画面において、L/を押すとケーブル長さを表示します。
（2）← → スイッチを押すと、ペア線の表示が変わります。
（3）ケーブル長さ表示中にSETスイッチを押すと、単位が変わります。（メートル/フィート）

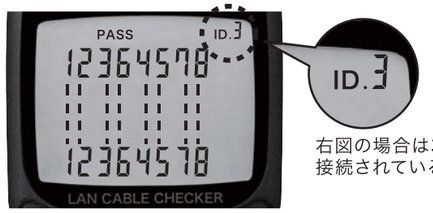
注）ケーブルの種類・ペア線の撚り状態・測定誤差により各ケーブル長は違う値を表示することがあります。
⚠ が表示された場合は、ケーブルの途中で断線・短絡している可能性があります。4ペアのケーブル長を比較して、障害の原因箇所までの長さがわかります。

※ ケーブル長の測定範囲は、5m～255mです。

1-2番ペアの長さ 100.0m
（ ◀▶ で各ペア切替）

〔配線探査〕

●別売の配線ターミナル②～⑧の併用により、最大８本のケーブルを探査できます。
（1）配線ターミナルをケーブルに接続します。
（2）本体をケーブルに接続しTESTスイッチを押すと、接続している配線ターミナルの番号が表示されます。（注）



右図の場合は3番に接続されている

（注）導通（ワイヤーマップ）で ⚠（不具合あり）の表示が出た場合は、接続ターミナルの番号表示は不確定になります。